



## 【速報!】神戸 SSH 生徒研究発表会で 本校代表生徒がダブル受賞



8月6日・7日の2日間、兵庫県神戸市、神戸国際展示場で開催された【令和7年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会】にて、本校からの代表参加となった坂本裕紀(3年)さんが、ポスター発表賞と生徒投票賞のダブル受賞を果たしました。

この発表会は毎年8月上旬に神戸で開催されている SSH 校全校が集まる全国大会です。今年度は 238 校が集まり、各校を代表する研究が集結。分野は全部で 6 分野(Ⅰ:数学・情報、Ⅱ:物理・工学、Ⅲ:化学、Ⅳ:地学、Ⅴ:生物 A、Ⅵ:生物 B)に分かれています。本校はⅠ:数学・情報分野に、『校内連絡アプリ Campus Link Pro の開発』という研究でエントリーしました。



まずはポスター発表を各校のブースで一斉に行い、審査員からの審査を受けます。本校の発表を聞きに来て下さる方は後を絶たず、終始発表し続けるような状態でした。

『Campus Link Pro』と名付けた坂本さんの研究は、校内の困りごとを ICT の力で解消することや、生徒・教員・学校に関わるすべてをつなぐアプリの開発を目指しました。特徴的な機能としては、【授業交換】を教員も生徒も便利にかつ瞬時に情報共有できるシステムが挙げられます。この他にもたくさんの機能が実装されていますが、ここまでの精度で高校生がアプリを構築したことが、会場で大きく話題に上がりました。発表を聞いて下さった他県の先生方からも「市販してくれたら購入して活用したい」、「1 年半の開発期間でここまで構築できたことは驚きであり、彼の工夫が詰まっている」など、たくさんの声を頂きました。また、同様の技術を用いたアプリの開発に挑戦する他県の高校生も多数おり、彼らと様々な質問や情報交換を行っている姿も印象的でした。

そして、翌 7 日に結果が発表されました。2000 人以上がこのステージに注目する中、2 度スクリーンに映し出される本校名を見ることができたのは本当に感無量でした。

学問でもスポーツでも、コツコツ積み重ねてきたことが結果に繋がるのはうれしいものですが、これは研究や探究でも一緒です。普通科・理数科問わず、緑岡高校では外部のコンテストへ積極的に出場することを奨励していますが、勧める大きな理由の一つは、まさにこれです。皆さんも発表の経験を積み、自身のスキルを磨き、次のステップへ進んで行きましょう！



## 【発表会】3 年生の集大成「SE 課題研究発表会」を開催しました

7 月 24 日(木)に水戸市民会館を会場に、本校理数科 3 年生の「SE 課題研究発表会」を開催しました。昨年度より SSH 第Ⅲ期がスタートした緑岡高校、Ⅲ期からは課題研究の名称も変更となっているため、今回の発表会が SE 課題研究としての最後の発表会となりました。

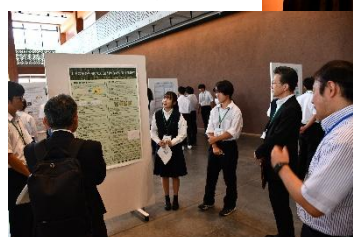
今年度は11班の研究を午前中にステージ発表、午後からポスター発表の形式で実施。理数科 2 年生が会の運営を行い、1 年生は聴衆として全員参加し、次年度から本格化する自分の探究や理数科への進学の見込み材料を得る大事な機会となりました。

当日は本校保護者の方、県内各地の中学生、県内高校(公立・私立)の先生方など、総勢約 80 名の方々にもご参加頂けたこと、非常にうれしく思います。



ステージ発表の様子

ポスター発表の様子



現在の 1 年生の皆さんが 3 年生になったときには普通科理数科間

わず、探究の最後のポスター発表はこの場で同じように実施する予定です。先輩方のポスターのまとめ方や発表の様子をしっかり目に焼き付けて自分たちの探究を進めて行きましょう。

| 課題研究タイトル                  |
|---------------------------|
| デンプンの加水分解における最適な固体酸触媒の研究  |
| ネギの葉身に含まれる抗菌成分に関する研究      |
| 発光バクテリアの可能性               |
| ルミノールの合成と化学発光             |
| 対流を利用した発電方法の研究            |
| 右か左か プラナリアの交替性転向反応        |
| 画像認識を用いて栄養状態を判定するアプリの開発   |
| 校内アプリ「Campus Link Pro」の開発 |
| 麹の酵素の働きによる乳酸発酵促進の検証       |
| 溶媒の濃度の違いによる水溶液中の屈折率の変化    |
| 可視化による無限級数の考察             |

## 【SSH 行事】Intensive English Training で理系英語に本格挑戦！

7 月 28 日(月)29 日(火)の 2 日間、理数科 2 年生が本校を会場に行われた【Intensive English Training】に参加しました。

この行事は本校の SSH 研究開発の中でも重視している【国際性】を育てるためのプログラムです。理数系の研究を海外でも発表できるように、普段授業では中々触れることのできない理系の英語表現を身につけさせるためのブートキャンプです。県内の高校などに勤める ALT の先生方を 9 名招聘し、1 班に 1 人講師をお願いし、密度濃く理系英語に親しんだ2日間となりました。



最後は恒例となっている、英語の論文を自分たちで要約し直し質疑応答まで行うプレゼンの披露です。身振り手振りを交えながら全チーム最後までやり遂げました。10 月にはシンガポールで自分たちの研究をシンガポール大学生に発表しますが、その良い準備となりました。シンガポールでの更なる成長に期待しています。